

# 柺尾

TSUGAO

柺尾神楽 400 年の  
伝統を守る



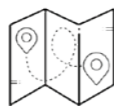
## 地区の概要

柺尾地区は柺尾、尾崎、大野・吐野々、中山の4集落で構成されており、人口は約35名と椎葉村内で人口が最も少ない地区です。高鍋町の河口へと注ぐ小丸川の源流域に位置し、美郷町南郷区が生活圏域にあたります。柺尾神楽、臼太鼓といった伝統芸能が継承されています。



## 地区の未来像

いつでもいつまでも  
美しい柺尾地区



## 作成の過程

地区住民なら誰でも参加できるワークショップ「柺尾みらい会議」を2回行いました。その後、役員会などの皆さんと打ち合わせを2回行い、地区住民による内容の校正を経て完成しました。

## プロジェクト

# 01 この地域で生涯暮らせる 環境づくり

### 概要

たのしみ農園、車に乗らない日の設定、たのもし会の発足、ボランティアグループづくりなどにより生涯暮らせる地域づくりを行い、情報誌によりそれらを発信する。2022年に情報誌の立ち上げと歩く会（仮称）を定期開催。2023年以降は継続発展させていく。

### 目的

生涯健康で助け合いながら地域で暮らしていきたいため。

### 実施体制

柺尾公民館

歩く会（仮）

情報誌編集部

たのもし会

希望者のみ参加  
会計は独立

## メモ



# 02 つがもり会

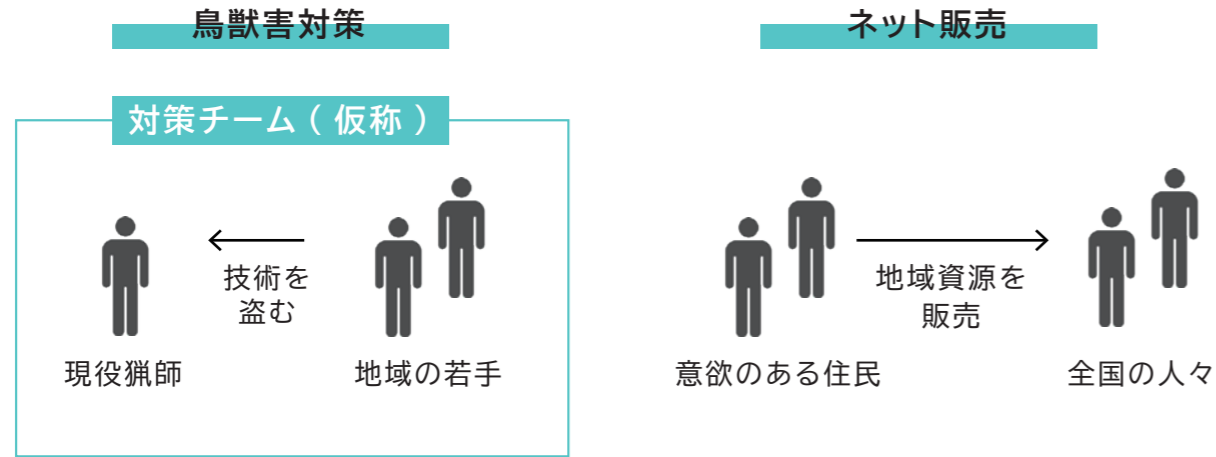
概要

1. 鳥獣害の被害をなくすため、罨免許の取得推進や勉強会を行い、地域の状況把握に努める。  
 2. 木や野草など地域のをインターネットで販売する。  
 2022年に狩猟免許を2名取得、勉強会の開催、ネット通販を開始。2023年以降、鳥獣害防止の対策を進める。

目的

1. 鳥獣害の被害をなくしたい。  
 2. 地域の資源を有効に使いたい。

実施体制



メモ

# 地域住民の声



館長の想い  
**黒木 真澄**  
 (くろき ますみ)

今回話し合って決まったプロジェクトでは、獣害被害を少しでもなくして、農作物を収穫する楽しみを確保するため、罨免許の取得や獣害対策の勉強会を開くといったことがありました。また、梶尾の自然の中にある木や野草などをインターネットで販売できないかというプロジェクトも出てきました。身の回りにある「当たり前」のものから知恵を絞ってお宝を発掘しようという、遊び心のあるものです。

私自身の子供がまだ小さいのですが、山仕事をする時には、いつも楽しそうに一緒に付いてきます。私と同じように山が好きでいてくれることが喜びでもありますし、これからも自然豊かなこの地を好きでいて欲しいと思います。

田舎も都会も変わらん。私はそう思っています。昔に比べてトンネルも通り、道路もずいぶん整備されて交通の便は大幅に改善されました。それに加えてインターネットの情報網も都会と遜色がない世の中です。あとはこの土地にあるものを見直して、活かしていきたい。そのために皆で前向きにプロジェクトを進めながら、梶尾に眠っている新しい楽しみを見つけていきたいと思っています。



**黒木 美代子**  
 (くろき みよこ)

梶尾地区では、夏に祭りをしたり、女性の源流太鼓で女性が活躍する場を作ったりと、地区の人数が多い頃にはとても活気がありました。しかし、時と共に子どもたちが村外に離れて人が減っていき、次第にいろいろなイベントや組織の運営が難しくなってきた背景があります。

そんな中でも、地区出身で昔から自然が好きだった人は、今でも休みの度に帰ってきます。それは山で遊んだという記憶や、幼い頃に身についたものが、大人になっても残っている証のように感じています。ずっと梶尾に住まないとしても、離れている出身者とのつながりを持つことは嬉しいものです。

自分たちの地区のことを皆で真剣に話す機会が普段はあまりないですが、今回の地区みらい会議を通して話し合う中で、「真剣に考えているんだな、いい考えを持っているな、捨てたもんじゃない!」と思わされる場面がたくさんありました。

「自分たちの状況はこうだ」と諦めのムードに流されずに、「自分たちでどうにかせんといかん!」という気持ちを持って、地区の人とのつながりを楽しみながら、この地でやっていきたいと思っています。